

ふるさと応援団木島平会会報

親子で木島平の夏体験!! 開催される

8月16日、郷の家において、「親子で木島平の夏体験」が開催されました。このイベントは、姉妹都市交流事業として調布市が企画したもので、木島平の夏を体験するツアーで調布市から34人の親子と村の親子9人が参加し、間伐材を使ったイス作りを行いました。初めて使う電気ドリルを手にとると最初は恐るおそるだった子どもたちも次第に「穴あいたよ」などと歓声が沸き喜んでいました。その後スイカ割りを行っている最中に突然の豪雨となりましたが、これも夏体験とのこと、雨の中で濡れながらスイカ割りを続け、夏の思い出をつくりました。調布市の皆さんは、翌日にこにこファームで野菜の収穫体験などを行い、木島平でのひと時の夏を充分満喫した様子でした。



▲イスは、丸太を半分に切り、枝で作った足を3本付けば完成。子どもたちでも簡単に作れました。



私は、山登り、山スキー、XCスキーの愛好者です。独りで遠征でヨーロッパ、インドヒマラヤ、ネパールゴキョ峰、中国クンレン山脈、パキスタンフンザ地方に出かけた。山スキーも面白く国内各地に出かけた。小谷村親の原から蓮華温泉の独り山スキーが記憶に残っている。奥志賀焼額山から野沢温泉上の平スキーツアーにも参加した。アパラチアントレイルには3年かけて歩き終えた。XCスキーの国際大会リーグ戦のワールドペットでは多くの人々の支援を受けて14カ国を走り終えた。

傍目八目（オカメハチモク）
アパラチアントレイル2000マイルー 土屋晴夫

【木島平村を別な場所から眺めて感動した話】

- ①焼額山からカヤの平に向って、木島平が見える場所(最初の感動もの)
- ②横倉堰途中の剣沢貯水ダムからの雑魚川方面の風景―幕末から明治はじめに佐渡金山の金堀職人にトンネルを掘らせた横蔵集落の造り酒屋坂口稔兵衛さんの事業に感動した。在職中、地元の堀米氏、蟻川氏、坂口氏に私の巡検(エクスカーション)にお付き合い頂いた。公民館にあった森陽外の碑は今は水神様の傍らへ異動された。
- ③内山の名水寺左から、城山に登り尾根を歩いて瑞穂、豊郷、木島平の村境から馬曲集落上部に出た時の尾根からの村の眺め。同じく福島集落から阿弥陀堂經由万沸岩に出た時の村の眺め。
- ④信越トレイル中の大将陣からの大塚、平塚など木島平田んぼの眺めが素晴らしい。昨年、大阪3人、東京1人、足利3人、長野市2人を案内して歩き、私が大いに自慢した風景です。

※アパラチアントレイルとは、アメリカ合衆国東部の南はアラバマ州から北はカナダ、ラブラドル地方まで延々と横たわるアパラチア山脈。その山中、ジョージア州からメイン州まで14の州をまたぎ、3500キロに及ぶ超ロングトレイル。

故郷「木島平」への想い 山崎 忠

「うさぎ追いし かの山」で始まる豊田村(現中野市)出身の高野辰之氏作詩の唱歌「故郷」を聞くたびに木島平村を想い出します。

1950年、小見区に生まれた団塊後期世代。当時の地区の世帯数は40戸でしたが、同級生が10人もいました。凍結した雪の上での近道登校や桑の実を食べながらの下校。樽川や小見島の沼での釣りや地区単位の夏休み中のハイキング等の行事。また、地区の祭礼の手伝いの楽しかった事。高校時代は「伝書鳩」の飼育と鳩レース競技に夢中になり、青森県からの500キロレースに参加し、無事に帰還することができた喜び。これらの故郷の想い出がその後の生き方の大きな励みになっています。

「いかにいます 父母」兄弟姉妹や孫、ひ孫と共に村で元気に暮らしている母も米寿を迎えました。「露のとう」や「野沢菜漬」などが届くたびに故郷を結ぶ懐かしい味になっています。母のつづがない多幸を願っています。

「こころざしを 果たして」上京してからこれまでの歳月、楽しい時や辛かった時、故郷で過ごした想い出が後押ししてくれました。まもなく還暦を迎える年齢になりますが、こころざしを果たしたかどうかは、これからの生き方によるものだと思います。

来年または再来年には、ともに還暦を迎える同級生と故郷で同級会が開かれることを楽しみにしています。

自然劇場きじま平の素晴らしい自然がいつまでも受け継がれ、これからの木島平村のご発展を願ってやみません。

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

庚 区

地区のテーマ
(将来像) 一人ひとりの知恵袋

庚区は平成20年9月1日現在、教員住宅や若者住宅等を含む56戸185人が暮らしています。

集落の中心には、村の指定文化財である百庚申があります。これは文久年間(1860年代)頃、庚の住人高山弥平太氏が、その義妹とともに事業に成功したのを感謝するため、集落の氏神であった猿田彦命を祀ったといわれ、庚申塔が百体もある百庚申は県下でも珍しく、庚区の宝でもあります。

こうした先人たちの努力に習い、区民が丸となって住みよい地域づくりを進めるため、「二人ひとりの知恵袋」をテーマに、区出身者との交流、区民の知恵袋の掘り起しなどを計画しています。また、庚区の花をマリーゴールドと定め、平成4年からは、それまで各自の花壇や沿道への植栽から、プランター植栽へ変更し現在に至ります。今後は老若男女がみんなで楽しめるイベントを地区づくり委員会を中心に開発したいと考えています。



▲江戸文久年間に建てられた「百庚申」



信州・木島平村 田舎いい仲間交流サイト
い〜なか交流館 <http://www.kijimadaira-fan.jp>
会員登録受付中です。あなたも「むら人」になりませんか!